

農繁期 レポート

令和6年 4-5月号

栄ファーム

オーナー
産地
水田面積
保証量
形態品種

栄運輸工業株式会社
鳥取県日野郡日南町
18.4アール
玄米828kg
特別栽培コシヒカリ



生産者 三上 惇二さん

本年もオーナーになってくださり、誠にありがとうございます。3月下旬に雪が軽く降ったものの、例年より雪の少ない冬で春が早くやって来ました。水不足を心配していましたが雨も適度に降り、順調に作業は進み田植えも無事に終わりました。今年の収穫も楽しみにお待ちしております。

4月～5月の作業内容

1. 土づくり

日南町の寒さは厳しく、雪も多く積もります。昨年の収穫以降じっくりと熟成させた土は、今年の美味しいお米づくりの基礎となります。驚いたことに、今年は3月下旬にも写真のように雪が積もりました。



3月まで続いた厳しい寒さ

2. 苗づくり (育苗)

健全な苗を作るためには、細かい注意が必要です。種もみの浸漬、催芽（さいが：発芽を始める状態にすること）、播種、出芽、緑化とかなりの工程を経つつ、温度管理も慎重に行います。まさに職人の仕事と言えます。



田植え機に設置した苗箱

3. 荒起こし・代かき

写真は代掻きの前に行う荒起こしの様子ですが、雑草の発生を抑えるためには重要な作業です。この後に水を入れて「代掻き」を行い、今後の稲の生育のためにもしっかりと「均平（きんべい）：平らにならすこと」に保ちます。



荒起こしの様子

4. 田植え

代掻き作業から数日が経過した頃に行います。昔は田植え作業は家族総出で行う一大行事でしたが、今は特に高性能な田植え機のおかげで作業負担は軽減されています。稲の良好な生育をイメージしながら作業を行います。



田植え